

# NEWS

しっかり市民派・ずっと無党派

## 未来にまっすぐ



### 吹田市議会議員いけぶち佐知子 通信

ブログ『未来にまっすぐ』<http://blog.goo.ne.jp/gogonet21>

いけぶち佐知子事務所 〒565-0851 吹田市千里山西 5-2-5 アクネビル

TEL/FAX06-4861-7418 [ikebuchi@office.email.ne.jp](mailto:ikebuchi@office.email.ne.jp)

2013年 4月号

## 市長の給料減額条例案は継続

市長の給料を10%1月間減額する条例案（議案第2号）を財政総務委員会は継続審査にしました。

＜市長が減額する理由＞

グリーンニューディール基金事業について、ガバナンス推進委員会（市内部の調査委員会）と監査委員会（市長部局から独立した行政委員会）から提出された報告書に基づき、合計13人の職員が訓告や文書厳重注意という処分を受けたことから、市長自身もけじめをつけたい。

＜財政総務委員会での審査の論点＞

1. 10%、1か月間の減額が妥当か

10%、1か月間（8.9万円）は他自治体や吹田市の前例を調べて決めたとのことでした。他自治体では「定例市議会提出資料に33か所の間違いがあった」「市制45周年記念式典で贈る感謝状決定通知の誤送付」などで、それらとグリーンニューディールのことと同程度でよいのか、という意見がありました。↑

2. 減額の時期が妥当か

議会で100条調査特別委員会の結果が出るのを待つべきではないかとの意見がありました。

市長の言い分

今、減額の条例提案をしておかないと、職員だけ処分して済みますか、との批判が出る可能性がある。

もし100条調査特別委員会で新たな事実が出てきて、今回の処分では不足だということになれば、再度、考える。

委員会の結論

市長の判断は判断として、委員会は100条調査委員会の結果を待つこととし、次の議会まで継続とすることになりました。

＜結果＞

財政総務委員会として、次の5月議会まで継続としましたので、そのことを議会最終日（3月27日）に報告し、全議員の了承を得ました。

## いけぶち佐知子 プロフィール

- 1957年 和歌山県生まれ。万葉集に出てくる妹背山や有吉佐和子の著書にもある紀の川のそばで生まれました。三人姉妹の真ん中。
- 1975年 国立大阪大学薬学部に入學し、2回生からは吹田市朝日町に。
- 1979年 大学を卒業後、製薬会社に勤務。
- 1982年 退社。子育てしながら医薬文献調査の在宅勤務。
- 1983年 千里山高塚に住む。
- 1992年 吹田市立女性センター（現男女共同参画センター）の講座マニアに。
- 1994年 約80倍の難関を突破し、同センターの非常勤職員として再就職。講座の企画運営を担当。社会教育主事資格取得（佛教大学通信課程）。
- 1999年 吹田市議会議員選挙に初挑戦、2764票いただき当選。

以来、2003年、2007年、2011年と連続4回当選。無党派市民派議員として活動中。曲がったことが嫌いな、まっすぐ人間。モットーは「行動すれば きっと変わる。」

## いけぶち佐知子事務所 千里山まちかどサロン



月～金 10時～15時  
お気軽にお越しください。

## 補正予算案が消滅

千里山駅前の千里山団地建替え事業に関連し、千里山駅前にコミュニティ施設を整備することになっています。当初、平成 24 年度中に工事契約を結ぶ予定でしたが、店舗に入る事業者の決定がズレ、契約も平成 25 年度にズレることになりました。

その結果、債務負担行為（注 1）のし直しが必要になり、補正予算が提案されました。

通常であれば、すでに前議会（昨年 12 月議会）で承認されている予算（債務負担行為）ですので、すんなり可決されるはずだったのですが、この予算と一緒に市長の給料の 10%、1 か月減額の予算が一つの補正予算案に入っていました。

すでに財政総務委員会では市長の減額条例は継続になっていましたので、予算だけが可決するはずがなく、継続か否決になります。

一方、コミュニティ施設の予算は可決してもらいたいと行政も市民も思っているはずですが、なぜ、可決されるか危うい市長の給料の減額補正とコミュニティ施設の債務負担行為の予算が一緒になっているのか不思議でなりません。

（注 1）「債務負担行為」は、将来にわたる債務（経費の支出義務）を負う契約を結ぶことです。

コミュニティ施設の予算を審査する文教産業委員会も財政総務委員の結果が継続か否決になるとわかっていますので、すんなり審査には入りません。

財政総務委員会も委員長（私）の判断で、この補正予算案の提案説明を受けることを保留していました。

財政総務委員会では提案説明できず、文教産業委員会では審査もされず、このような保留状態がしばらく続きました。

このままではコミュニティ施設の契約ができないとのため、執行部からの提案で市長の給料の減額補正予算案は削除修正されました。コミュニティ施設の債務負担行為の予算だけになりましたので、当然、文教産業委員会で可決、本会議でも可決となりました。

一方、財政総務委員会に付託された補正予算が、同委員会での提案説明の直後削除する修正がされ、同委員会でも審査する補正予算が消滅するという、私をはじめの結果になりました。

ほかにもこの 3 月議会では以下のように、提案された議案の修正や撤回がありました。

- PFI 方式で佐竹台に建設する予定であった市営住宅の予算が削除されました。
- 道路上に太陽光発電設備、風力発電設備を設置する際の道路占用料の提案が撤回されました。

平成 24 年（2012 年）議員会計報告

収 入	議員報酬	10,842,000	前期より繰越	444,580	*1：応援団には事務所の 1F 家賃、水光熱費、事務費、通信費を含んでいます。
	審議会等報酬	44,400			
	預金利息	27	収入計	11,331,007	
支 出	事務所 2F 家賃	600,000	税金	1,534,500	*2：議員共済がなくなったので、ほぼ同額を個人で掛けています。
	人件費	597,880	共済・互助会 (*2)	1,478,000	
	事務雑費	13,398	年金・国保	637,990	
	交通費	210,425	生活費	3,975,000	
	通信費	120,872	次期へ繰越	960,237	
	活動費	302,705			
	応援団 (*1)	900,000	支出計	11,331,007	



### メールでお知らせします！

ご希望の方には、いけぶち佐知子・事務所から市政・議会情報やいけぶち佐知子応援団イベント情報を直接お知らせします。下記メールアドレスに「お名前」「ご住所」「メールアドレス(携帯アドレスも可)」「メール送信希望」とお書きの上、送信してください。Eメール：ikebuchi@office.email.ne.jp